

uP!!!SPECIAL
LIVE HOLIC
supported by  SPACE SHOWER TV

10-FEETとgo!go!vanillasが金沢で激突!

注目アーティストによる2マンイベント、「LIVE HOLIC vol.19」開催!



10-FEET



go!go!vanillas

撮影=西槇太一

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と、KDDIとびあが提供するエンタテインメント・サービス「uP!!!」が主催するライブイベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC vol.19 supported by SPACE SHOWER TV」が、11月11日(日)、石川県・金沢 Eight Hallで開催されました。

本イベントは“今”の日本の音楽シーンになくしてはならない圧倒的存在感を誇るアーティストによる2マンイベント。過去には札幌、福岡、名古屋、岡山、東京、大阪、仙台、新潟、広島、福島で実施。2017年3月にはVol.1～7までの出演アーティストが集結した「LIVE HOLIC extra」を東京・新木場STUDIO COASTにて2DAYS開催。今年の1～2月には初の全国5都市を巡る全国ツアーも実施しました。今回の金沢公演は、圧倒的存在感を放ち続ける日本を代表するロックバンド10-FEETと、音楽シーンの最前線でぶつちぎって輝いているgo!go!vanillasの対決が実現。なんとこの2マンライブは「LIVE HOLIC」が初となります。ライブバンドとして定評のある2組の初競演に、金沢のオーディエンスも熱狂!大盛況のうちに幕を閉じました。このイベントの様子は年明け1月にスペースシャワーTVにて60分の特別番組としてオンエア致します。一度聴いたら離れられない…そんな中毒性を孕んだライブは必見です!

つきましてはライブレポートおよびライブ写真素材をお送りいたしますので、是非貴媒体で取上げていただけますと幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。

● **≪イベント概要≫**

イベントタイトル: uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC vol.19 supported by SPACE SHOWER TV

日時: 2018年11月11日(日) OPEN17:00 / START18:00 場所: 金沢 Eight Hall

出演: 10-FEET、go!go!vanillas

チケット料金: 4,300円(税込) ※別途ドリンク代500円

主催: SPACE SHOWER TV / KDDI 企画/制作: SPACE SHOWER TV

イベント公式サイト <http://www.spaceshowertv.com/liveholic/> (WEB/MOBILE共通)

このイベントの様子は1月にスペースシャワーTVで特別番組としてオンエア!

スペースシャワーTV 「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC vol.19 10-FEET×go!go!vanillas」

初回放送: 1/11(金) 22:00~23:00 他

視聴方法→<http://www.spaceshowertv.com/about/howto/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク ブランド事業部 マーケティング課

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215

担当:中澤久美子 knakazawa@spaceshower.net

日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と、KDDIとぴあが提供するエンタテインメント・サービス「uP!!!」が主催するライブイベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC」。本イベントは後輩バンド VS 先輩バンドによる2マンライブが恒例となっており、その第19回目は、初の金沢公演にて10-FEETとgo!go!vanillasが火花を散らした。

go!go!vanillas

軽快なケルト音楽に乗って登場した、先鋒のgo!go!vanillas。その牧歌的なSEをシームレスに持続するように高速トラッドパンク“マジック”でライブをスタートすると、バンド、金沢Eight Hallのオーディエンス双方がつんのめるようにしてお互いに距離を詰める。カントリー、ケルト、フォークなどを即効性の高いビート感に増強して転がっていくgo!go!vanillasスタイルのど真ん中をそのまま叩き込んだような“ヒンキーディンキーパーティークルー”に雪崩れ込んで一気に着火し、“エマ”では3声による♪オ、オ、オーオーで牧達弥(Vo./G.)のスイートなメロディを押し出して加速させていく。牧、長谷川プリティ敬祐(Ba.)、柳沢進太郎(G.)が目まぐるしく入れ替わりながら前へ出て一体感を求めるパフォーマンスを見ていると、トラディショナルな音楽を効きの早いビート感とシンガロング性の高い歌にビルドアップしていく音楽のスタイルにしても、一見go!go!vanillasのライブではひたすら「楽しさ」が追求されているようにも思える。だが、たとえば“チェンジユアワールド”のように、4人それぞれの歌心が絡み合っていく楽曲こそ、ストロングスタイルのロックバンドとして突き抜けようとするストイックさと鍛錬と真摯さを証明していると感じるアクトだ。冷静と情熱。やんちゃなパフォーマンスと、それを支える確かなスキル。くるとカメレオンのように表情を変えていくバンドの姿が楽しい。

牧「大好きな10-FEET先輩と、初めての2マンライブです！ 思えば、僕の友達のお兄ちゃんが俺の友達にハイスタ(Hi-STANDARD)の音楽を貸して、それを僕らにも回してくれて。そこでパンクとロックを初めて体験しました。そこからアメリカの音楽に興味を持って、SUM41だったり、MxPxだったり、遡っていったときにRAMONESに出会ったりしながら、The Beatlesに出会って。すべてパンクやメロコアに出会ったのがきっかけでした。たとえ音楽性は違っても、僕らと10-FEETが通じているのは、音楽が好きでライブが好きだっていうところだと思います。だから最高の夜にしたいと思うんです」

というMCもあったように、単なる「先輩との勝負」という意味だけではなく、己の音楽の原風景と邂逅するステージでもあったのだろう。“おはようカルチャー”、“SUMMER BREEZE”、“カウンターアクション”と曲を重ねるごとに、つんのめる寸前を維持しながら駆け抜けるスピード感とスリリングさがグングン増していく(ドラムのシンバルが吹き飛んでしまう一幕)。

<踊れ 平成ペイン／あなたと行くのさ この道の行く末を／照らせ 平成ペイン> (“平成ペイン”)と歌う通り、平成世代(= go!go!vanillasの世代)の鬱屈を受け止めてその先へと突き抜けるための闘争心がこのバンドを突き動かしている。どの世代にもぽっかりと存在してきた退屈を蹴散らしていくための音楽としてロックに恋い焦がれ、その根源を掘り起こし、ハッピーな瞬間への執念をメロディにする。そんな、go!go!vanillasの核心が生々しく伝わるアクトだった。ライブ終盤に牧が言い放った「負けらんねえ」という言葉。それを10-FEETがどう受けて立つのか——vanillasが去った後も、そんな期待と興奮がライブハウス全体に充満している。このゾクッとする空気こそ、2マンライブの醍醐味だ。

10-FEET

そして、続いてステージに立った10-FEET。

「元気かい、元気かい。俺ら勝手に行くから。モタモタしてるヤツは置いていくから。それぞれの楽しみ方があると思うけど、ちょっとしたことくらいで怒んなよ。みんなありがとう、責任持ってめちゃうちゃにします」——

柔らかい口調で、しかしどこか鋭い目つきで挨拶したTAKUMA(Vo./G.)。そこから披露されたオープニングナンバーは“JUNGLES”だ。「vanillasから受け取ったボタンを熱々のまま…、行こうぜ！」

ステージとフロア双方のウォー、オー！の怒号がクロスして、すし詰めのオーディエンスと10-FEET間の垣根が一瞬にしてぶっ壊される。先のTAKUMAの言葉通り、目まぐるしい展開で突っ走ってオーディエンスを一気に引きずり上げる“focus”、“SHOES”と畳み掛け、ノンストップで“1 size FITS ALL”までを一気に駆け抜ける、あまりに強烈な「先制パンチ」だ。

「おい金沢、地元のヤツどれくらいおんねん！ 金沢を見せてくれよ！ お前らの日常は知らん。俺らの日常も知らんやろ？ 俺らは後腐れない関係やし、熱い中でベタベタもせず、でも今日はとにかくやりたいんや！」という叫びのようなMCから放たれた“goes on”では、サークルもモッシュもジャンプも拳もグチャグチャに入り混じって、その場にいる全員がひと塊で泣き笑いを浮かべているような光景に。曲ごとに音も歌も鋭くなっていくが、それに伴って一人ひとりの感情解放量もステージに向かって一直線になっていく。ひたすらストイックに畳み掛けていくライブだが、双方の交感によって、熱の塊がグングン巨大化していくところが目に見える。さらに“RIVER”、“蜃気楼”と続け、新旧を織り交ぜながら真摯な言葉を投げかけ続けるまさに真骨頂のライブだ。

「お前の魂がイライラに負けんように願ってるわ。思いやりひとつやで。みんなに毎日があるけど、みんな普通の人やで。優しさって想像力やと思うねん。あの人に母親がいるんやろ？ とか。あの人も飼ってる犬が死んだら悲しむんやろ？ とか。もしかしたら不愉快な思いをして帰る人が、ひとりでいるのかもしれない。だけど、そうならないようにしたい」

「優しさは想像力。相手になり切る。ありがとうを伝える時も、好きを伝える時も。照れんな、勇気を出して言葉を伝えろよ」10-FEETが歌い叫んできたのはいつだって、自分を疑ったり、卑屈になったり、そんな弱さの向こう側に突き抜けるための歌だ。そうしてそれぞれが自分に胸を張って強く生きていければ、人を受け入れて優しさを分け合えるはずだという願いだ。その歌と音と叫びに鼓舞された人が声と拳を上げて真新しい姿で体ごとぶつかっていくのが10-FEETのライブである。感情のブレーキをぶっ壊し解放する暴動のような光景が広がった“1sec.”はまさにその象徴。“ヒトリセカイ”、“その向こうへ”まで、ただただ10-FEETとして今語り掛けたいこと・伝えたいことを真摯に手渡し続けるライブだった。

「行け！ 迷ったら進め！」と最後に叫んだTAKUMAだったが、音楽性もライブスタイルも異なる2バンドに共通する姿勢が、そこにすべて言い表されていたと思う。振り払いたいものがあるから、ただただ前だけを見て突進していく。鬱屈があるから、ハッピーを求め続ける。そんなロックの「ひっくり返す夢」を改めて示す一夜だった。

なお、この日のライブの様子は年明け1月11日22時よりスペースシャワーTVで放送される予定。ぜひ、チェックを。

(取材・文=矢島大地／撮影=西槇太一)

<セットリスト>

go!go!vanillas

M1.マジック/M2.ヒンキーディンキーパーティークルー/M3.エマ/M4.デッドマンズチェイス/M5.チェンジユアワールド/M6.おはようカルチャー/M7. SUMMER BREEZE/M8.カウンターアクション/M9.平成ペイン

10-FEET

M1. JUNGLES/M2. focus /M3. SHOES /M4.1 size FITS ALL/M5. goes on /M6. RIVER/M7.蜃気楼/M8. 1sec./M9.ヒトリセカイ/M10.その向こうへ/EN1.back to the sunset/EN2. VIBES BY VIBES

LIVE HOLIC 5周年を記念して、過去の出演者が集うextra公演を 幕張メッセイベントホール2DAYS&初の大阪にて開催！



日本全国各地で、一度聴いたら離れられない…そんな中毒性を孕んだライブを届け続けている中、「LIVE HOLIC」は、来年2019年に5周年を迎えます。そこで、5周年を記念して過去の出演者が集うextra公演を幕張メッセイベントホール2DAYS&初の大阪にて開催致します。開催日は2019年3月29日(金)、30日(土)が幕張メッセイベントホール、4月20日(土)がなんばHatchです。現在プレイガイド<3次>先行予約受付中。チケットをご購入いただいたお客さま全員に「LIVE HOLIC CREWバッジ」(非売品)をプレゼント致します。売り切れ必至の公演ですのでご予約はお早めに！

◆「LIVE HOLIC 5th ANNIVERSARY- uP!!! SPECIAL LIVE HOLIC extra vol.3 supported by SPACE SHOWER TV」概要

DAY1 : 2019年3月29日(金) at 幕張メッセイベントホール open 12:00 / start 13:00 予定

LIVE ACT : THE ORAL CIGARETTES、9mm Parabellum Bullet、10-FEET、TOTALFAT、THE BACK HORN、BLUE ENCOUNT、THE BAWDIES、yonige

DAY2 : 2019年3月30日(土) at 幕張イベントホール open 12:00 / start 13:00 予定

LIVE ACT : ACIDMAN、androp、ORANGE RANGE、キユウソネコカミ、SHE'S、Nothing's Carved In Stone、04 Limited Sazabys、UNISON SQUARE GARDEN

DAY3 : 2019年4月20日(土) at なんばHatch (extra初の大阪公演!) open 14:00 / start 15:00 予定

LIVE ACT : 雨のパレード、アルカラ、KEYTALK、サイダーガール、SUPER BEAVER and one more!

主催 : SPACE SHOWER TV/KDDI 協賛 : uP!!! /ファミリーマート 企画/制作 : SPACE SHOWER TV
制作協力/運営 : H.I.P. お問い合わせ : [幕張公演]H.I.P. 03-3475-9999 [大阪公演]GREENS 06-6882-1224

◆チケット情報◆

プレイガイド<3次>先行予約受付! 11月13日(火)23:59迄

<DAY1&DAY2 at 幕張メッセイベントホール>

単日スタンディング代金 ¥6,800 / 単日指定席代金 ¥6,800

<DAY3 at なんばHatch>

スタンディング代金 ¥5,600 / 2階指定席代金 ¥5,600

[リンク]イベント公式サイト : <https://www.spaceshowertv.com/liveholic/extra2019/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク ブランド事業部 マーケティング課

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215

担当:中澤久美子 knakazawa@spaceshower.net